

令和6年度 第1年次 前期授業アンケート結果 分析表

現代の国語	多くの生徒が集中して授業に取り組み、進度・難易度ともに適切であると感じている生徒が多いが、現実には例年よりも進度は遅く、生徒の理解力、期待が低い。予習・復習を習慣づけ、基礎学力が定着するようにするとともに、生徒の興味・関心を高められるような授業展開を目指したい。
言語文化	集中して取り組んでいる生徒が多く、難易度・進度についてもちょうど良いと感じている生徒の割合が高い。予習・復習が習慣づけられるような声かけをいっそう心掛けたい。グループ活動も引き続き取り入れながら、文学への理解を深め、生徒の興味・関心が高まるよう授業内容を工夫したい。
地理総合	授業に集中して取り組むことや授業の難易度、授業進度に関して肯定的な回答が多い。また、授業に対する興味・関心も高く、授業内容にもっと触れてみたいと感じている生徒も多い。今後は知識の定着にとどまらず、既有知識を使って課題解決において協議・討論するような授業に取り組みたい。
歴史総合	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。授業の難易度、授業進度に関しては、難しい・速いと感じている回答が多かった。内容や提示の仕方を工夫し、丁寧な指導や声かけをしていきたい。生徒の興味関心を喚起しグループ学習なども取り入れながら、歴史の多面性を感じ歴史への理解が深まる授業に取り組んでいきたい。
数学Ⅰ	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度ともに適切であると感じている生徒が多く、積極的に学習に取り組む生徒が増えている。予習・復習と問題演習など、学習の仕方などについても自立していくことができるような働きかけとともに、表現力や状況把握能力など様々な力を育む授業展開を目指したい。
探究数学A	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度ともに適切であると感じている生徒が多く、積極的に学習に取り組む生徒が増えている。予習・復習と問題演習など、学習の仕方などについても自立していくことができるような働きかけとともに、表現力や状況把握能力など様々な力を育む授業展開を目指したい。
自然科学基礎	興味を持って授業に取り組んだり、自然科学について関心を持てるようになった生徒が多くいる。基礎を付した科目の内容を元にしているため、内容の難易度はあまり高くないが、難易度が高いと感じている生徒が一定数いる。中学校での学習とのつながりを意識したり、生徒自身が考える場面を増やすなどの工夫をさらに考えていきたい。
体育	大半の生徒が授業に集中して取り組めており、進度・難易度についても適切である。授業は週2回ではあるが、全体の技能・体力の向上が見られる授業内容の工夫が必要である。今後もパソコン（タブレット）の活用、グループ学習等を積極的に取り入れ充実した授業を実施していきたいと考える。
保健	大半の生徒が授業に集中して取り組めており、進度・難易度についても適切である。単元の内容によっては、グループ学習等を積極的に取り入れ充実した授業を実施していきたいと考える。
美術	多くの生徒が楽しく真剣に取り組んでいる。興味関心が高まる授業を心掛け、生徒達の創造性を伸ばす指導に努めたい。
書道	多くの生徒が授業に集中して取り組めており、授業の難易度もちょうど良いと回答している。創作意欲の増す授業ができるとともに、芸術に興味関心を持てるよう努めたい。
英語コミュニケーションⅠ	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度ともに適切であると感じている生徒が多く、積極的に英語学習に取り組んでいる生徒が多い。自立した学習スタイルを確立させるべく、予習・復習の習慣化を更に促すとともに、英語運用能力の向上のため、応用的な内容にも取り組んでいきたい。
論理・表現Ⅰ	多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。授業への関心・意欲が高く、授業を肯定的に捉えている生徒の割合も高い。予習を更に促しながら、効果的な活動を検討していくとともに、発展的な内容にも取り組んでいきたい。パフォーマンステストについても計画的に実施していきたい。
家庭基礎	多くの生徒が興味を持って授業に取り組んでいる。引き続き学習した内容と実生活が結びつくような授業を心掛けるとともに、グループ学習や発表を効果的に取り入れる工夫をし、生活の課題解決を目指す実践的な態度や能力を育てたい。
情報Ⅰ	多くの生徒が集中して取り組んでいる。今年度より実習で行うプログラミング言語をC言語からPythonに変えたが、マイナスの意見は見られなかった。今後も論理的思考力の高まる学習ができるような展開を目指したい。

令和6年度 第2年次 前期授業アンケート結果 分析表

論理国語	難易度、進度、取り組み姿勢、グループ・ペア活動の実施状況は適切であると認められる。科目への興味・関心、視野の広がりについては8割弱の生徒が高まったと答えているが、より一層の工夫や仕掛けを心掛けたい。漢字語句等の基礎事項に関する小テストや意見文作成等に積極的に取り組んでおり、基礎力の育成や言語活動に対する意識づけはかなりできていると言える。
文学国語	論理国語と同様に、難易度、進度、取り組み姿勢、グループ・ペア活動の実施状況は適切であると認められる。特に理系で予習復習をしない生徒が半数近いが、予習の有無によって理解度や興味関心の度合いも異なり、グループ・ペア活動にも大きく影響すると思われる。文学も本文を理由根拠にしながら論理的に考える姿勢が意識されるようになり、問題の解き方が分かったという生徒も増えた。
古典探究	難易度や進度、グループ・ペア活動については適切であると認められる。予習をしているという回答は多いが、その質が問われる。授業の理解度はおおむね高いが、その日のうちに復習し、基礎力や読解力を定着させるよう、意識させたい。
日本史探究	授業進度、難易度ともほとんどの生徒が適切であると回答しており、集中して授業に取り組んでいる。生徒たちが意欲的に家庭学習にも取り組んでいけるように、学習の目標を明確にして授業を進めていきたい。
世界史探究	授業には集中して取り組み、授業もわかりやすいとの回答が多かった。一方で、授業の難易度、授業進度に関して、難しい・速い・遅いと感じている回答も見られた。内容や提示の仕方を工夫し、丁寧な指導や声かけをしていきたい。生徒の興味関心を喚起する授業に取り組むとともに、家庭学習にも意欲的に取り組めるよう工夫をしていきたい。
地理探究	1年次の学習内容と関連付けて授業を行っている。授業の難易度や進度といった基本的部分は概ね適当な状況にある。暗記だけに頼らない考える力を身につけるために、この先も考察する機会も増やして学習の定着を図りたい。
公共	概ね例年通りの進度状況であり、授業に集中している生徒の割合が高い結果にある。単元ごとにペアワークやグループ活動で他者との意見を交わす場面を設定したり、自身で調べてきた情報を共有したりして、意欲が高まってきているように感じる。今後も継続していきたい。
数学Ⅱ	授業の進度や難易度について肯定的な回答が多い。しかし、予習・復習への取り組みが不十分な生徒も多い。再度、家庭学習の重要性を共有しながら「学習の継続」を前提とした取り組みに努めたい。
探究数学B	多くの生徒が授業に集中しているが、内容が深まり、授業スピードも早くなったことに対して、やや苦手意識、理解不足がでている可能性がある。予習・復習に十分に取り組めていない生徒も見られるため、家庭における学習の重要性を共有し、予習・復習と学習の継続への取り組みに更に努めたい。
数理情報	多くの生徒が授業に集中しているが、週1時間の授業に対して学習する内容が多いため、やや苦手意識、理解不足がでている可能性がある。興味や関心が高められるように丁寧な説明と、内容に適した教材開発に引き続き努めていきたい。
探究化学Ⅰ	生徒は真面目に授業に取り組んでいる。授業難易度も適切なようだが、思考力や表現力を鍛える必要があると考える。実験の実施は理解の手助けになっているようだが、ただ現象の確認だけに終わらず、考察をやりきる力を身につけて欲しい。
探究物理Ⅰ	95%以上の生徒が、授業に集中して取り組み、授業の説明はポイントが的確で分かりやすいと答えている。物理現象の理解には、その現象が起こっている条件や状況を把握し、現象に関わる物理量とその関係性や法則性の理解が必要である。授業では、このような点をポイントとしておさえていきたい。一方、難しさを感じている生徒には個別対応していきたい。
探究生物Ⅰ	おおむね良好な結果であった。今後も、授業で考察やグループワーク、発表の時間を設けることで理解につなげていきたい。進度との兼ね合いもあるが、今後も適宜実験や観察を行って理解を深めていきたい。
探究自然科学Ⅰ 物理基礎	良好な結果であった。実験観察や社会との関連を扱うだけではなく、探究の場面を活用して生徒の関心を高めていきたい。また、少人数での授業の特性を活かして、個に対応した授業展開を行ってきたい。
探究自然科学Ⅰ 化学基礎	日々の授業の様子やアンケートからも、授業を大切にしようとする姿勢がうかがえる。グループ活動にも意欲的であり、理解の深まりを感じている生徒も多い。理科の他科目と重なるトピックについて授業で取り上げ、思考力を鍛えるような問いかけを増やしたい。
探究自然科学Ⅰ 生物基礎	おおむね良好な結果であった。今後も、授業で考察やグループワーク、発表の時間を設けることで理解につなげていきたい。進度も順調であり、今までの復習や演習も取り入れながら丁寧に学習を進めていきたい。
探究自然科学Ⅰ 地学基礎	おおむね良好な結果である。多くの生徒が集中して学習に取り組んでいる。難易度に関しては適当と考える。少し速めの進度を希望する生徒もいるので工夫したい。実験やグループワークを希望する生徒もいるので、積極的に活用したい。
体育	大半の生徒が授業に集中して取り組めており、進度・難易度についても適切である。授業は週2回ではあるが、多くの生徒の技能・体力の向上が見られる。パソコン（タブレット）の活用や、グループ学習の場面を積極的に取り入れ、選択制授業の充実を図り、3年生の男女共修選択制授業へのよい準備期間となるよう働きかけていきたい。
保健	大半の生徒が授業に集中して取り組めており、進度・難易度についても適切である。単元の内容によっては、グループ学習等を積極的に取り入れた充実した授業を実施していきたいと考える。
英語コミュニケーションⅡ	1年次から継続して、多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。進度・難易度とも適切であると感じている生徒が多く、学習活動に非常に積極的である。予習が習慣化され、英語運用能力の向上を図ろうと工夫して学習に励む姿が見られる。
論理・表現Ⅱ	1年次から継続して、多くの生徒が集中して授業に取り組んでいる。授業への関心・意欲が高く、授業を肯定的に捉えている生徒の割合も高い。コミュニケーション活動に意欲的に取り組み、英語運用能力を更に高めようとする姿が見られる。予習・復習をしている生徒の割合が低い。
【選】 探究社会科学A	哲学・思想内容が難しいと感じている生徒は少なくないが、内容理解や興味・関心についても低くはない。今後は理解の定着にとどまらず、学んだことをもとにさまざまな問題を考え深めることにつながる授業に取り組むたい。
【選】 プログラミング実践	少人数で授業を行っているため、生徒の理解度に合わせて授業を行っており、それが楽しく授業に取り組んでいる要因となっていると考えられる。今後は、難易度が高くなっても生徒が前向きに取り組むことができるようにしたい。

令和6年度 第3年次 前期授業アンケート結果 分析表

論理国語	難易度、進度については概ね適切であると認められる。ただし、同じ教材を扱っても難しいと感じる生徒が文系よりも理系の方が多いことがアンケートからもうかがえる。そうしたことを踏まえより丁寧な指導が求められる。調査において考えさせる問題が多いと感じている生徒が3割前後いるが、教科書の文章と初見の文章との組み合わせで出題していることがその要因だろう。
文学国語	難易度、進度については概ね適切であると認められる。小説やエッセイを扱うことから論理国語に比べて文章に対する抵抗感は少ないことがうかがえる。ペアワークについては概ね学習に有効であると生徒は受けとめており、そうした活動を有効に組み込んだ授業は、生徒も興味関心を持ち、理解を深めているようである。
古典探究	難易度、進度については概ね適切であると認められる。予習や復習すべきことがはっきりしていることから学習への取組状況も良好だと言える。その結果、学習意識が高まったり理解できるようになったと回答している割合は8割を超えている。今後は学習の質を高め、読み解く力が着実についていくよう指導の工夫をしていきたい。
地理探究 発展地理	人口、都市・居住問題、民族・生活文化といった人文科学分野を中心に実施した。関心が高まるような工夫を継続したい。考察する力が求められており、地理的な思考力を高めるため、授業でも考察の場面をさらに工夫したい。
日本史探究 発展日本史	概ね授業への取組は良好で、難易度や進度、グループ学習や思考力を問うテスト問題なども多くは肯定的意見であった。ただ、進度については少ない時間数の中での工夫の必要性は引き続き認識している。質問項目の数値が若干悪化する可能性はあるものの、予習した内容を授業で確認・意見交換するというやり方を増やしていかないと認識している。
世界史探究 発展世界史	授業の難易度・進度・わかりやすさなど多くの項目で概ね良好な回答であった。大多数の生徒が意欲的に学習に取り組んでおり、授業を受けて興味・関心が高くなったとの回答も多かった。一部、理解や取り組みに困難さを抱える回答も見られた。歴史の多面性を感じ歴史への理解が深まる授業に努め、深い学びや主体的な取り組みにつながるような工夫をしていきたい。
数学Ⅲ	授業そのもの、授業に対しての取り組みは概ね良好な回答であり、SSHの取り組みや対話的な授業の成果か、興味関心が高まったという意見も増えている。今後も知識の定着にとどまらず、本質的な理解に努めるとともに、様々な課題に主体的に取り組む姿はぐくみ、深い学びにつなげていきたい。
探究数学C	授業そのもの、授業に対しての取り組みは概ね良好な回答であり、SSHの取り組みや対話的な授業の成果か、興味関心が高まったという意見も増えている。問題演習が中心であるが、単純な解法にとどまらず、本質的な理解に努め、様々な課題に主体的に取り組む姿はぐくむことで、深い学びにつなげていきたい。
発展数学D	授業そのもの、授業に対しての取り組みは概ね良好な回答である。また、ペアワークの機会を増やしたことにより、授業内容の理解が深まり、興味関心が高まったとある。今後も本質的な理解につなげ、様々な課題に主体的に取り組む姿勢を育て、深い学びにつなげていきたい。
発展数学 $\alpha\beta$	授業そのもの、授業に対しての取り組みは概ね良好な回答であり、SSHの取り組みや対話的な授業の成果か、興味関心が高まったという意見も増えている。今後も本質的な理解に努めるとともに、様々な課題に主体的に取り組む姿勢を育て、深い学びにつなげていきたい。
探究化学Ⅱ	授業の進度が遅いことに不安を感じている生徒が多いが、覚えるべき内容が多く、手に余っている生徒も少なくない。実験や標本などで生徒の興味と意欲を引き付けつつ、座学部分は効率よく進行するような工夫（教材、確認テスト等）をしていきたい。
探究物理Ⅱ	授業の取り組み、理解度ともに概ね良好であった。日常には感じられない現象も多く理解が難しい分野もあるが、理論を深めていくことで思考力や表現力を高めていきたい。また、今後は問題演習が増えてくるが、問題の条件を理解したうえで適切な法則を運用していく力を育てたい。また生徒同士で議論していく中で、現象への理解をさらにを伸ばしていきたい。
探生物Ⅱ	実験を通して内容を理解したという生徒の割合が比較的多い。生徒の意欲、授業の進度・レベルなどは比較的良好な意見が多く、授業に集中して取り組んでいる。今後は先端科学の内容を含め、高度な内容を扱う授業も心掛けたい。
探究自然科学Ⅱ 物理基礎	おおむね良好な取り組みが見られる。これまでの実験を中心とした授業で、関心と理解が深まったようである。今後は演習中心の授業となるが、少人数の利点を生かし、基礎から応用まで議論しながら理解を深めていきたい。
探究自然科学Ⅱ 化学基礎	授業の取り組み状況、理解度などおおむね良好な結果であった。グループ学習を取り入れることで、理解が深まっている割合が高いので、継続して実施していきたい。関心が高まることでより理解度が深まると考えられるため、実験を取り入れるなどして関心度を高めていきたい。
探究自然科学Ⅱ 生物基礎	おおむね良好な結果であった。PCやプロジェクトの活用などを通じてより関心を持たせる授業を心掛けたい。グループワークなども必要に応じて取り入れたいが、現状でよいと考えている生徒も多いことも考慮に入れながら工夫をしていきたい。
探究自然科学Ⅱ 地学基礎	おおむね良好な結果である。多くの生徒が集中して学習に取り組んでいる。少し速めの進度・高めの難易度を希望する生徒もいるので工夫したい。実験やグループワークを希望する生徒もいるので積極的に活用したい。
体育	大半の生徒が授業に集中して取り組んでおり、進度・難易度についても適切である。3年生は週3回あるため、技能・体力の向上を感じている生徒が多いようである。パソコン（タブレット）を効果的に活用し、男女共修選択制授業の充実を図り、生涯体育につながる力を身に付けさせたい。
英語コミュニケーションⅢ	多くの生徒にとって予習・復習が習慣化しており、授業に臨む態度が育成されている。3年間を通して授業に集中して受けることができており、授業進度や難易度も適切であると肯定的に捉えている。グループワークやディスカッションでは既習の知識を駆使して積極的に授業に参加しようとする様子も見られ、主体的学習者としての素養が身につつつある。
発展論理・表現Ⅲ 応用論理・表現Ⅲ	3年間を通して授業を集中して受けることができており、予習や復習もしっかり習慣化されている。ペアワークやグループワークにも積極的に参加し、思考力や表現力の向上に努めている様子が多々見受けられる。テストなどで出題されるエッセイライティングにほぼすべての生徒が解答をすることができる。
【選】 探究社会科学B	授業に集中して取り組むことや授業の難易度、授業進度に関して肯定的な回答が多い。また、授業に対する興味・関心も高い。知識の定着だけにとどまらず、既有知識を使って課題解決に向けて協議・討論するようなペアワーク、グループワークの授業にも力を注ぎたい。
【選】 プログラミング実践	情報が得意な生徒ばかりではない中、じっくり時間をかけて取り組んできたつもりでいたが、それでも難しく感じている生徒が見られた。今後は、生徒が段階を上げながら難易度の高い内容にも対応できるような状態になるようにさらにサポートしていきたい。
【選】 美術研究	授業を真剣に取り組んでいる。授業スピードもちょうど良いという結果であった。基礎力を身につける為に多くの時間をつかったことで技術面の向上があったと思う。